

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月31日

事業所名： 合志市社協「れんがの家」

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースの中で利用者が動きやすく、また、スムーズに活動できるようパーティションなどを用いて工夫している。 ・人数や個別で使う部屋と考える狭く少ない。パーティションを立てて使ったり活動を考えている。 ・日によって利用人数も違いがある為少し狭く感じる事もあるが、活動時に部屋を分けたりするようにしている。 ・規定上は適切であるが実際活動時には特に粗大運動において環境に課題があると考え ・限りあるスペースの中で状況に応じてスタッフ間で話し合い最大限の努力を行っている。 	施設の指定基準以上を満たしている。クラス分けを行ったため、利用できるスペースを最大限活用し、小集団、個別、小グループなど児童の発達段階や特性に応じ、パーティション等を利用し工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切である	6	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに相談し、人数だけでなく利用者の状態も考えてできるよう工夫している。 ・特に配慮が必要な子どもが多いときは、内容を工夫し活動を行っている。 ・発達段階に幅があり、利用児の組み合わせなど工夫している。 ・人員も流動的に動かせるような取り組みも取り入れている。 	人員配置基準以上に、保育士、児童指導員の加配2名、作業療法士、言語聴覚士（臨時）を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・段差等気を付けたり、角などにクッション材を用いて危険がないようにしたり視覚的に絵や文字などで提示しわかりやすいようにしている。 ・写真や絵カードなどを使いわかりやすく知らせる。 ・限られた空間で構造化を実現する為移動式パーティションを用いて環境づくりを行っている。障害特性等に応じた配慮は日々検討して行っている。 	引き続き、限られた空間をパーティションや視覚支援を用い構造化を図っていく。また、安全面に配慮しながら環境設定を行っていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが過ごしやすいよう片付け、清掃など毎日気を付けている。 ・こまめな消毒や掃除を行っている。 ・こまめにアルコールスプレーや次亜塩素酸ナトリウム希釈スプレーで消毒している。 ・常時、次亜塩素酸ナトリウム水、アルコールなどで季節に応じて消毒を行っている。 	季節や状況に応じて、引き続き感染症対策等を行い、安心した環境設定を行っていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティング等を通して行っている。 ・朝や週一のミーティング、ノートなどで共有ができています。 ・個別支援会議、ミーティングに職員が参加できるように調整を行っている。 	朝と毎週のミーティングを行うことで、職員全体で情報を共有し、ミーティング記録ノートを活用し、情報の漏れがないよう努めている。また、各グループ支援終了後のミーティングで支援の振り返りを行い利用児への支援と
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速に対応している。 ・評価表はもちろんのこと、連絡帳や面談等でもいただいた意見に対して業務改善を行っている。 	今後も継続して検討、実施していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年保護者に伝わりやすい実施を行っており、分析を行い評価を社協ホームページに掲載している。 	社協ホームページに掲載するとともに、事業所内に閲覧用ファイルを設置し公開している。

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	3	2		今後、第三者評価を取り入れていく予定である。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	0	・月1回課全体研修の他、各事業において随時研修を受けている。 ・各委員会主催の研修(テーマ別)実施。 ・可能な限り情報を収集している。	外部研修もオンラインにて積極的に受講するよう努めている。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	0	0	・情報共有と分析の機会を個別支援会議や日々のミーティング等にて行い計画を作成している。 ・個別支援会議で質を高めている。	・乳幼児発達スケールをもとに、活動や生活場面においてアセスメントを行い、個別支援会議において職員間で検討をしたうえで個別支援計画立案作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	0	・KIDSを基に独自に行っている。	KIDSを基にした独自のアセスメントツールを使用し、日々工夫しながら行っている。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	0	0	児童発達支援ガイドラインに基づいた個別支援計画書の書式に改正した。	今年度より書式を細分化し、ガイドライン、支援計画に基づいてより具体的に支援内容の設定を行っている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	0	0	朝のミーティングで確認している。	朝のミーティングにおいて個別支援計画にそった個々の目標を確認し、活動の目標を設定し活動の振り返りを行っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	0	・スタッフ間で相談しながら計画している。 ・週に一度、週案として立案している。	・週1回のミーティングにて共有、協議を行っている。 ・保育士、作業療法士、言語聴覚士、音楽講師、元支援学校教員など異職種により活動を計画立案し、子どもたちが楽しく取り組めるよう努めている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	0	・グループ間で情報交換したり、プログラム検討にあたって様々なことから情報交換を行い固定化しないように努めている。 ・週に一度、週案として立案している。	・子どもそれぞれの課題に対し、個に応じたプログラムを立てている。 ・楽しみながら取り組めるよう、季節行事、リトミック、芸術鑑賞、戸外活動など様々な内容を取り入れるよう工夫している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	0	0	・ご利用児の課題をスタッフで相談しながら、個別や集団の組み合わせを考え計画を立てている。	・年齢、発達によりクラス分けを行い発達に沿った支援努めた。 ・就学に向けた年長、年中児の個別活動を取り入れた。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	0	・毎日のミーティングを行う。 ・朝ミーティングにおいて実施。 ・朝の時間に時間を設けている。	個人の目標を毎朝確認し、打ち合わせを行っている。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	3	0	・その日にできないときは、次に振り返って内容検討するようにしている。 ・スタッフ間での気づきは伝え合うよう気を付けている。 ・振り返り・共有はできているが、設定はできていない。 ・グループごとの振り返りは行っていないが、全体共有の場合は翌日のミーティング時などに行っている。 ・支援の振り返りは行っているが特別に時間は設けていない。	支援終了後に各グループにおいて、支援内容等について振り返りを行うよう努めている。

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	0	・特記用紙を利用し利用前に振り返れるようにしている。 ・特記として記入しているが、支援後に口頭で伝えることで安心してしまいうもあり課題である。	・支援の振り返りを行い、共有ノートに記録、職員間で共有に努めている。 ・特記用紙を項目別の様式に変更、検証しやすいよう努めている。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	0	個別支援会議にてモニタリングを行い、検討を重ねている。	相談員と連携しモニタリングを行い、半年ごとに見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0	0		相談員と連携を図りながら、児童発達支援管理責任者に加え、担当保育士や専門職(作業療法士)が出席をし情報共有をはかっている。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	0	0	・保健師や女性子ども支援課への情報提供や共有を行っている。	市健康福祉課、子育て支援課、女性子ども支援課と必要に応じて連携を行っている。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	0	0	・担当者会議や送迎時に話せるようにしている。 ・ケース会議への出席など、必要なケースに対し享保共有と相互理解を図っている。	主に送迎時、各保育園、認定こども園、幼稚園と情報共有を行っている。必要な場合は会議を設定するなど、今後も適宜行っていく。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0	1	市健康づくり推進課が発行している就学支援シートを推進するとともに、事業所での様子を詳細に記した、独自の就学サポートシートを添付するなど、情報共有と相互理解を図っている。	必要に応じて、相談員と連携し、支援会議の設定をすすめている。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	2	1	・中々コロナでできないので早く参加できるようになるといい。 ・研修の参加を行っている。 ・研修へは参加の機会がある。	・地域療育センターより、就学に向けた勉強会を保護者向けにも行っている。 ・研修へ積極的に参加している。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	0	4	3	・中々コロナでできない。 ・今のところおもちゃ図書館ぐらいかなと思う。 ・今年度はコロナ禍により実施できていない。 ・今年度は新型コロナの影響もあり行いにくい状況であったが、行事にて交流を図る予定だった。 ・コロナにより機会が減ってしまった。 ・コロナの為交流することができでない。	交流の機会をつくるため、計画はしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止のため実施できていない。

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	②9 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	0	0	1	・回覧で情報を共有している。	積極的な参加を行っている。また、情報は回覧にて共有している。
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	0	・保育園送迎の保護者とは中々話せないがノートなどで聞き取れるように記入したりしている。 ・連絡帳や送迎時、保護者会、面談等で行っている。 ・連絡帳や送迎時・電話・連絡帳にて伝え共通理解を図っている。 ・できる限りのアプローチを心がけている。	保育園送迎のため直接話す機会は少ないが、連絡帳で情報の共有を行い、可能な限り保護者会や面談等を行い、共通理解を深められるよう努めていく。
	③1 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0	1	2	・土曜日を親子活動の日とし、必要と思われる家庭、ご希望される家庭への支援を行っている。 ・土曜日の療育をメインに必要な家族への支援を行っている。 ・必要に応じて土曜日にプログラミングを行っている。	土曜日に親子活動や親子療育、面談を行い家族支援を行っている。引き続きそれぞれの家庭に応じた形態家族支援を行っている。
保護者への説明責任等	③2 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	1	契約時に書面を通じて詳しく説明をおこなっている。変更があった場合は、随時保護者へ周知している。	年度初めに保護者説明会を実施している。変更があった場合は、随時丁寧に保護者へ伝えている。
	③3 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	0	1	児童発達支援ガイドラインに基づき、職員全体で支援内容の検討をおこない、個別支援計画を作成している。保護者に渡す際に説明を行い同意を得ている。	面談時に説明を行い、保護者のニーズと合致しているのか確認し同意を得よう努めていく。
	③4 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	0	・保護者会を通じ相談支援を行っている。	要望や相談があった場合は迅速に対応できる体制を整えている。
	③5 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	0	0	・コロナで中々できないが…できるといいです。 ・親子活動や保護者のみの会を開催し横のつながりが持てるような機会の設定を行っている。 ・定期的に保護者会や親子活動を企画・開催している。 ・年に数回行っている。	保護者会を開催することにより、親子活動や子どもを介して、保護者の横のつながりができるようコーディネートしている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りの実施が難しかった。
	③6 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	0	相談しやすいよう、窓口を作っている。保護者からの要望や相談については迅速にミーティングを行い職員間で共有し対応できるようにしている。	窓口で対応することで安心感を持っていただいている。担当職員からも詳細を伝えられるよう体制を整えている。また、必要があれば上司に相談し適切に対応できるよう努めている。
	③7 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0	0	・月1回お便りを発行し日頃の活動の様子やねらい目的などを伝えている。 ・れんがだよりを月1回発行している。 ・月に1回出すように頑張っています。	月1回「れんがたより」を発行、日頃の様子や活動の目的を周知している。また、LINEを活用し緊急時の連絡体制も整えている。
	③8 個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	0	0	社会福祉協議会の個人情報保護規定に基づき、適切な管理をおこなっている。	常時確認をし、適切な管理をおこなっている。
③9 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	0	こどもの特性を考慮し、それぞれの子どもも理解しやすいよう、文字やイラストを使用した視覚支援などをおこなっている。	今後も引き続き、こどもの特性と発達を考慮し汰対応をおこなう。	

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	無回答	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの為に招待は難しいができる時期には積極的にやっている。 ・コロナ禍、季節行事において状況が許す限り行っている。 ・施設行事に地域のボランティアさんも招待し、交流の機会を持っている。 ・コロナにより難しさを感じている。 	新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意しながら、公園等地域の資源を活用し、地域住民との関わりを大切にしている。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応訓練を行う予定。 ・委員会の設置。 	保護者参画の避難訓練を計画していく。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回避難訓練を実施。 	自然災害、火災訓練に加え、不審者対応の訓練も計画していく。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認している	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時確認するとともに年度初めに児童票により把握している。 ・契約時に情報を聞き取り服薬・予防接種・アレルギー等の情報を看護師等の関係者と共有し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に服薬、アレルギー、身体症状等を確認し、看護師や栄養士と情報共有をおこなっている。 ・年1回児童票にて、こどもの状態確認をしている。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	0	0	契約時のアセスメントでアレルギーだけではなく、食べたことがないものも確認用紙に記入し提出してもらっている。また、保護者から情報があつた場合、指示書を提出していただいている。	今後も利用開始前に必ずアセスメントをおこない、書面で確認するとともに職員全員が確認できるよう表示している。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を設立し年1回の職員研修を必ず行っている。 ・令和3年12月職員全体にて研修を実施 ・日々のミーティング等で共有し、対策を検討している。 ・簡易ヒヤリも作成し共有している。 	小さなことでも記録し、ミーティング時に振り返りを行い再発防止につとめている。
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を設立し年1回の職員研修を必ず行っている。 ・令和3年12月職員全体にて研修を実施。 ・委員会の設置 	事業所内に虐待防止委員会を設置し、虐待を防止する研修を実施、職員の意識の向上に努めている。
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	0	1	身体拘束については、こどもの特性に合わせて安全を配慮し、一時的に行動を制止、クールダウンのため個別で対応する場合もある。	個別支援計画書に、安全を優先し身体拘束の適正化の基づく支援内容を記載している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。